

2025 年 10 月 27 日
株式会社 小糸製作所

小糸製作所「Japan Mobility Show 2025」出展概要

次世代モビリティ社会の安全・安心を支える最先端の KOITO の「光」を出展

株式会社小糸製作所（本社：東京都品川区、社長：加藤 充明）は、東京ビッグサイトにて開催される「Japan Mobility Show 2025」（プレスデー：10 月 29 日～30 日、一般公開日：10 月 31 日～11 月 9 日）に出展します。



出展ブースイメージ

創業 110 周年を迎えた KOITO は、「光」でモビリティ社会の安全・安心に貢献してまいりました。本展示会では 2030 年に向けた「KOITO VISION ～人と地球の未来を照らす～」に基づき、次世代モビリティ社会の安全・安心に向け、「ライティング」「センシング」「コミュニケーション」の 3つの軸で「光」の可能性を追求し、そして宇宙に広がる KOITO の最先端技術を紹介します。

これからのモビリティ社会の安全・安心を支える最先端の KOITO の「光」をご体験ください。

ライティング：ドライバーに最適な夜間視界を提供するライティング技術

高精細 ADB (Adaptive Driving Beam)

「まぶしくないハイビーム」である ADB(ハイビーム可変ヘッドランプ)の最新技術「高精細 ADB」をデモンストレーションで紹介します。高精細 ADB は、16,000 分割の LED を個別に制御することで、従来の ADB (12 分割) に比べ、対向車や前走車に対するハイビームの消灯範囲を最小にし、ドライバーの夜間走行時の視界を最大化します。

また、歩行者にもまぶしさを与えないよう、ハイビームを減光したり、道路標識の反射を抑えるよう、光量をきめ細かく調整するなど、より精密な配光制御を可能にします。JMS では、来場者にドライバーと対向車の目線の両方から、その「うれしさ」を体感いただきます。



高精細 ADB の配光イメージ

融雪ランプ【初出展】

寒冷地ではランプへの雪や氷の付着が視認性の低下や安全性確保における課題となっています。

当社はこの課題を解決するため、ランプ表面を温めて冰雪を溶かす融雪機能を備えたリアランプをトラック向けに開発・提供しています。

JMS では、ヘッドランプへの融雪機能の搭載拡大に向けて、車両のスタイリングを損なわない、薄型の「融雪ヘッドランプ」を新たに開発し、世界初出展します。

ドライバーモニター連動 AFS (Adaptive Front Lighting System)【初出展】

当社は、株式会社デンソー、株式会社 J-QuAD DYNAMICS と協業して、「交通事故ゼロ社会」の実現を目指し、車両の安全性能技術の向上に取り組んでいます。

その取り組みの一つとして、従来の AFS (Adaptive Front Lighting System) を進化させ、ドライバーの視線と連動するヘッドランプシステムを映像で紹介します。

従来の AFS はハンドルの舵角に応じてロービームを左右にスイブル (回転) させ、カーブの先などを照らすものでした。開発中のドライバーモニター連動 AFS は、ドライバーの視線の方向を検知し、その先をロービームで追加照射する「1 秒先を知る」ライティングによって、夜間走行時の安全性向上にさらに貢献してまいります。

センシング：周囲を正確に検知するセンサ技術

LiDAR ラインナップ

車載だけでなく、産機・建機・農機などのさまざまなニーズに応える、KOITO の短・中・長距離 LiDAR ラインナップを出展します。来場者の動きをリアルタイムで 3 次元・高精細に検知するデモンストレーションも実施します。

移動体検知システム「ILLUMIERE」

イルミエールは、人やクルマの「動き」を正確に把握・データ化することができ、2023 年の公開以来、多くのお客様とその活用可能性について検討してまいりました。現在、工場内の安全支援や工程改善、広場やイベントの混雑状況や人流の把握など、さまざまなシチュエーションにおける課題解決や DX 推進などへの活用が進展しています。

今回の JMS では、複雑な形状のエリア内での来場者検知デモンストレーションを通じて、その性能の高さを紹介します。

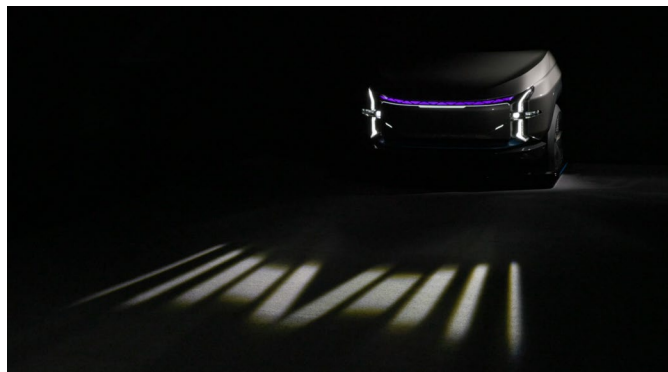
コミュニケーション：人とクルマを繋げるライティング技術

シグナルロードプロジェクション搭載ヘッドランプ【初出展】

2025 年 5 月発売の「カローラ クロス」で日本初搭載されたシグナルロードプロジェクションは、ターンシグナルの点灯に合わせて路面にシェブロン（V字型のサイン）を投影・描画し、歩行者や周辺車両のドライバーなどに、いち早く自車の存在や動きを知らせます。

コミュニケーションコンセプトモック【初出展】

光によるコミュニケーション機能を車両に搭載したコンセプトモックを日本初出展します。光の演出でクルマの状態・ドライバーの意思（メッセージ）を周りの交通参加者へ視覚的に伝えることで、クルマと人、クルマとクルマのコミュニケーションをサポートし、次世代モビリティ社会においても安全で円滑な交通社会を実現する技術を紹介します。



月面探査用有人と圧ローバー向け船外照明【初出展】

トヨタ自動車株式会社と、同社が JAXA と研究開発を進める月面での探査活動に必要な有人と圧ローバー（トヨタ自動車愛称：ルナクルーザー）向け船外照明のコンセプトモックを初出展します。月面は、昼夜の寒暖差が非常に大きく、その温度差は 300°C程度であり、加えて、放射能、真空、月面を覆う砂礫（レゴリス）など過酷な環境に対応するため、高い耐久性や信頼性を実現した照明器を開発しています。

< Japan Mobility Show 2025 開催概要 >

- ・主 催：一般社団法人 日本自動車工業会
- ・会 期：プレスデー：10 月 29 日～30 日、一般公開日：10 月 31 日～11 月 9 日
- ・会 場：東京ビッグサイト(東京都江東区有明 3-11-1)
- ・オフィシャルサイト：<https://www.japan-mobility-show.com/>

以 上

リリースに関するお問い合わせ：株式会社 小糸製作所 広報室
TEL 03-3443-7113 FAX 03-3447-1520